

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」出町柳校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		~ 2024年 11月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		~ 2024年 11月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別療育でその子に応じたオーダーメイドの療育。	・指導員間での情報共有をしている。 ・保護者とのコミュニケーションを取っている。 ・子どもが楽しいと思える内容を考えている。 ・本児の様子を見てその日の内容を調節している。	・保護者と話す時間をより確保できるようにして園や家庭の様子を聞き取っていく。 ・子どもの様子や取り組み内容について職員全体で共有をしていく。
2	・保育士や認定心理士の資格を持っている職員がいる。	・知識や経験を活かした療育を考え一人ひとりに合った内容に取り組んでいる。 ・内容や対応に困った時は資格や経験が多い職員に聞くようにしていく。	・知識などを他の指導員にも共有していく。 ・困った時など聞ける時間や環境を整えていき職員一人ひとりが知識を得られるようにしていく。
3	・送迎時に保護者との関りが多い。	・療育時間内に来所して頂き様子ややり取りを実際にみってもらう。 ・家庭での困り感、様子聞き対応策や方法を伝えていく。	・療育を見てももらうための声掛け等を行っていく。 ・家庭や園の様子を聞く中で変化や成長にも気付き伝えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団での活動が少ない。	・時間の調節が難しい。 ・利用時間のスケジュールが合わない。	・小集団の活動について周知していく。 ・土曜日や長期休みを利用してスケジュールを組み立てていく。
2	・通所を希望されても空きがないためすぐに案内ができない。	・継続して利用している方が多く卒業が少ない。 ・夕方の時間帯に利用している方が多い。	・空きが出た場合ご連絡をする。 ・適宜、課題や成長など確認していき子どもに合った居場所を提案していく。
3	・支援室が少ない	・使用できるスペースに限りがあることが要因。 ・個室だと遊ぶ範囲が限られているため取り組みが難しい。	・教室の割り振りなど工夫して支援を取り組んでいく。 ・時間によって空いている部屋があれば促していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」出町柳校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 8

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				5		交流自体はありませんがお子様の情報共有という点で訪問することはあります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5					特に意見はなかったが、療育後の振り返りを中心に、保護者の方と話し日々療育に活かしている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		1			保護者同士の連携は行ってないが要望や必要性を感じたら検討していきたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					引き続き、「きらり」に行きたいと言われてもらえるような事業所であり続けたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					引き続き、利用者及び保護者の方に満足していただけるように努めたいと思います。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」出町柳校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもに合わせてスペースを確保することができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指導員を3名以上配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		シンプルに過ごしやすい環境を作っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除を行い清潔な状態にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもに合わせて部屋の環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		短期、長期と目標を立て日々の支援内容を決めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			アンケートの結果から改善部分があればミーティングを行い改善策を考えていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝のミーティングなどで確認し改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			現在は利用者・社内の2者評価のみ。第三者による外部評価については現在実施の予定はない。今後必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回以上内部研修がある。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		半年ごとにモニタリングを行い支援プログラムを作成している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員と相談しながら課題設定をして作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		新しい個別支援計画を元に担当職員と確認し支援内容を決めていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートなどから確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		6か月ごとにモニタリングを行い、具体的な支援内容など設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に児発管や担当指導員と連携をしている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	一人一人に合わせて内容を選定し取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別で見つけた課題を集団で取り入れたりして組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝にミーティングで来所予定の確認や担当が変更になった時、共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後か翌日には共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	翌日には言動など細かく記録に記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年ごとにモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議がなく、参加する機会は少ない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		該当者なし
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からご要望があれば訪問し情報を共有している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からご要望があれば訪問し情報を共有している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達センターと連携をすることは現在ないが必要に応じて取り組んでいく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流する機会がないので、職員が見学に行ってもらうなど交流と理解を深めていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の様子など聴取し共通理解を持っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族へのアドバイスや相談に乗ることはあるが家族支援プログラムとしては明確には行ってないため、検討していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明をしている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの際、意見などしっかり聞き取る時間を設けている。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成した個別支援計画を説明後に同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その都度悩みや相談を聴取し必要な助言や支援を行っている。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		個人情報保護の観点からも積極的な保護者同士の連携は行っていない。今後要望や必要性を感じたら検討していきたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談なおおれば迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			掲示物や配布、LINEで発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			鍵のついた書庫に保管をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			視覚的ツールを活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			地域の方が参加できるイベントは実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			月に1回様々な想定で防災訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			月に1回様々な災害を想定して防災訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			アセスメントシートなどから確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				食事を取ることはない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			契約時に緊急事態が起こった際の避難場所などを説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			事例について自事業所で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			会社で研修の機会を確保している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。	